



# 望ましい家庭の民主化

倉品 千代子

日本は家族制度の国である。私共は家と云ふものを非常に重要なものとして教えられ、子供の時、立身出世し、家の名を輝かせ、名を汚すなと戒められた家をつぐと云ふ事がやましくいわれ、新しい民法が作られる以前は、ひとり娘は家をなくして嫁にゆく事は法律が許さなかつたが、今は法律の上ではこの事はなくなつたが、なほ現在根強くこの考えが封建時代の遺物として残っている。家は私生活の場所、子供達の成長の場所夫婦の愛情の場所でお互に協同生活をとるべき場所であつて、子が親に仕える場所でも夫婦の間に於ける隷属の場所でもない。親と子、夫と妻とは年齢も違い、趣味も考えも違ふ。親のすきな事が常に子供に喜ばれるとは限らないし、妻の趣味を夫がすべてよしとするかどうかは分らない。親の聞きたい放送は子供はたいくつだろ、子供はのすきな放送は親に騒々しい。家はこうした趣味も好悪も嗜好

も考へ方も感じ方も大きく相違する何人かの家族がお互に認め合い相手の気持ちを察し、譲り合つてはじめて可能な協同生活の場所である。民主主義は家での協同生活から出発する。今の世の家庭生活を見ると、父は専制独裁で母と子がひたすら父にかしづく家庭とひとり天下で両親はすべてを犠牲にして子供の幸福に奉仕している家庭と両極端が多い。よく聞く事であるが「楽しい家庭のない人生はオアシスのない砂漠に似てる。家庭はこよなき人生の慰安所であり明日への活動の原動力である」とその通りである夫にとつて家庭がオアシスであるといふのはよいが、妻にとつて明日の活動とは何の活動なのか、つまりこの文字の上に夫といふ一句がかくされていく様である。家庭の設計が良妻の仕事であつて、妻は奥様職業——料理人兼洗濯屋兼掃除婦兼保母兼会計士兼何々、但し他所様の仕事は致しませんと。世の中の種々の技術はひた

すら仕事の分業により進歩してに余任では少しも分業化されなく、従つて進歩は割にない男性は個性に従つて職業を選び分業になつていから自分の持ち合せの才能に應じて仕事を選ぶ事が出来るが、女性も哲学科の秀才も数学科の秀才の女子学生でも結婚すると無選択に家事と育事を自分等の個性は發揮されない。非能率的な職業方式である。家庭の事情は個々名々千差万別であるが、しかし何をなすべきかの根本は男も女も青年もみんな独りの独立の間としてそれぞれ個々の事情の中に最もよく自分を生かして社会のために働かうとするならば如何になすべきかの答えは自分自分の頭から出 来る筈である現在まだ根強い封建制の時代に女性の新しい家庭生活には男性と共に女性も頭の切りかえの出来ない中は大きな困難がある私には男の子供が多い。時々家事の手傳を分業式に要求する。あなた方は民主主義の時代に生きるのだから女性の仕事も出来るだけ手傳い、女性に勉強する時間を與い、向上する意欲を持たせればならない。しかし蛙の干は蛙でなかなかみ腰を上げない。家庭での絶えざる家族の協力の下に女性ももつと向上してゆかれたら家庭の民主的な幸福な時代が来るものと信じる。

## 町會だより

- 七月一日 厚生水道委員会 全町の塵芥処理について、牛車一、手車六台にて徹底的に処理する。
- 二、共同住宅へ水道引込工事の完了を報告。
- 三、新制中学校校庭外の土取穴を数回に区割し、堰止め、塵芥を以て埋め立て、消毒をして土をかけ、数年間維持すること。
- 七月四日 土木委員会 一、全町道路、水路を視察し、修理又は補強すべき箇所について一々検討を行ふ。
- 二、笛木久一氏宅の側の土地について実測調査をなした。
- 三、役場係員から、道路の修理をかけた箇所について報告。
- 七月五日 教育委員会 町立巻中学校に於て開会 一、中学校グラウンドの整備についで 野球場に隣接して、競技場(直線百米、一周二百米)の走路を作り、石炭ガラ、砂、土を混合して敷くこと。
- 二、中学校の歯科医療器械の簡易なる物を備へ附けること。
- 三、日遮 風雪除けのため、校舎の西側、南側にポプラ樹、落葉松等を移植すること。
- 七月五日 産業委員会 一、第八区、九区の代表者と野菜、青果物の朝市開設の事について協議をなし、中瀬原の大生産地を視察調査することに決定。
- 七月十二日 産業委員会 一、野菜青果物の大生産地視察の結果報告。
- 二、近郷生産地の農協、区長を手荷して訪問し、意見を聞き出荷の勸奨をすること。
- 七月二十五日 産業委員会 一、近郷生産地視察の結果について話し合ふ。
- 二、八月一日から開市することに決定し、其の諸準備、宣傳の方法について詳細の打合せを行つた。
- 七月二十六日 朝市場開設準備会 一、市中の野菜、青果物業者全部の募集を願ひ、朝市場開設に至るまでの経過について説明し、全面的な協力を求めた。
- 七月二十一日 町議会議決 出席 十六名 欠席 九名 一、常任各委員会の結果について各委員長から報告があつた。
- 二、中学校屋内運動場の建築について、
- 三、地方税制確定の上審議する。昭和二十四年度分町税の滞納の処置について
- 四、二十五年度繰越して処理する研究のため保留とすること。
- 五、収入役の補助者として出納六、登雲橋の架替について
- 六、警備工事として 負担金が二、三割程度であれば架替する事
- 七、稻熱病防除の見舞金に就て農家の勞苦に報い、食糧増産の見地から十万円を贈呈する
- 八、欠員中の常任委員長を町議會議決第三回臨時会(七月廿一日)に選任することとす。
- 七月廿一日 第三回臨時町会出席 十九名 欠席 六名 一、巻町公告式條例外條例二件を設定
- 二、出納員任命についての同意外一件決定
- 三、常任委員長長の互選について左記当選
  - 総務委員長 横田 孫平
  - 教育委員長 河治 忠
  - 産業委員長 白崎 一
  - 厚生委員長 沢栗 健一郎



教育欄

長岡博の感想

巻中 福田 正導

巻中学校の修学旅行を兼ねた博覧会見学の引率として感想を發表申し上げます。新聞、ラジオの報道によれば、実に天下の殿堂世紀の偉観を思はせる先入観を植えたの宣傳をしたが、実際には相当の宣傳をしたが、実際には相当の感を得た。百聞は一見に如かずの感を得た。百聞は一見に如かずの感を得た。百聞は一見に如かずの感を得た。

な印象を與えた原因は勿論私にも責任はあるが、館は狭小なので休憩場の少ない点、飲料水の配水の悪い点、通路がせまい点、通風の悪い点(皮肉なのは寒いと思ふ)雪の科学館が入ると汗がたくさん出る点等があげられる。観覧では団体は見聞を廣めるに不適當であり、個人の場合には趣味の館を氣儘に研究観覧するに便けようとする。出品数は総体的に見て少く、説明が多すぎて実際のなものが見えぬ。出品も参考になるものが少く、しかも混雑で不適當。しかも館全体を混雑して診断すれば、宣傳と唯有利本位の計画が主催者の頭上にあつて、議者をしつと嘆を抱かしむるであらうと思ふ。子供達に執つてのオアシスたる児童館千天に飲水する位の注意も欲しかった。坪数が不足と旬日の不足もあらうが、巻の団体は折角の期待が裏切られ引率として寂しい氣持で一杯であつた。

PTAの感想二つ

西川宇重郎

仰せによつて一寸茲に述べさせていただきます。集會の時には或特定の方のみによらず出来るだけ多くの会員

の方々から遠慮のない御意見を聞きませ願うことによつて、最も民主的な會を運営することはPTAの大切な條件であると思われ。沈黙は金鈴なりなどとは今の御時世に無用の長物。「人に悪く思われたくない」とか、「人に腹を見られたくない」とか、どの自己護身は社会人として、まづ會員として無責任であり、不忠実であり、そして野心的なブルササさを感じさせられる。故意的な爲めにする言動は慎まねばならぬが、正義であり真理であるとの信念の下に敢然卒直に自己の意見を吐露するのは社会のため、人様のためには何の参考にもならない。歴史は移り、時代は變つた。「有言実行」こそ正に民主社会に於ける金鈴である。特に婦人の方々にはこの惠まれた民主憲法下の世代だ。時こそ到れど勇敢に活々とした御意見を聞きませ願いたい。子供達の生活には何といつても婦人の方が最も理解ある筈だしまた一般的に婦人の方の御意見には公平でものごとに執られない傾向があつて、参考になることが多いようである。特に今後の日本は女性の自覚とその進出にまたねばならぬ多くのことがありといわれて居る今日でも、多量に役員は出来るだけ交替し、多くの方々からなつていただいたい。凡て民主的教育機関の運営にはこれは当然なこと。特にPTAには肝要であると思ふ。勿論どうしても事情止むやうな方々も不適任な方々もあるが、然しそれは役によつて見れば、その位置や役によつて見れば、それのこととはめつたにないと思われ。各自がその位置に立ち、その役員になること、経験は知の母なり、自然とそのものごとく理解をもつし、他の会員の方々もやが

讀書隨想

森川謙一

「戦争と平和」 谷川徹三著
何故、人間は戦争を繰り返すのであろうか。一九四五年八月、第二次世界大戦が終つた其の日から、私達は又新たな戦争の不気味なる脅威の重圧下にあいで来た。そして其の間、今日まで、あらゆる平和への努力がなされて来たけれど、猶平和への脅威は除かれなかつた。私達の平和を求むる事其の事が、人類の夢想なのであるか。本書は此の間に答へ、一九四九年度ノベル平和賞に輝く、「世界連邦政府運動」を解剖しつつ、世界永久平和への新しい理念を説き、全人類への新しい一ツ、世界連邦政府樹立以外に無いと斷じて私達に大きな感銘を與へてくれる。昨日まで平和への手段であつた「國家主權の尊重と平等の原則」

に立ち主權の制限にまで行つていぬ点、二大國間の世界戦争へ危機を解決出来ずにある。又平和の理想も、現在のソ連とユゴスラビアの如く、對等の主權國家と見做す事は出来ない。戦争を根絶する事は出来ず、却つて戦争の危険のみならず、却つて戦争の危険がある。此処に世界政府への希望と憧憬が存在する。世界連邦政府は平和の手続きに依る世界憲法に依り、世界の立法、司法、行政三機關を制して従來の主權國家の主權を制限する事に依つてイデオロギーの對立、経済組織の相違政治体制の背反等に依る戦争の危機をさげ法の支配する秩序の中で労働問題、植民地問題、人種問題を解決せんとするものである。勿論、世界政府が出来れば一切が解決出来るとは考へられないが、問題の解決を暴力に訴へず、済む決定的第一歩が踏み出せるのでは